

2026 年度

日本ダウン症療育研究会「赤ちゃん体操指導員養成コース」募集要項

1. コースの概要

ご希望に合わせて、以下の2コースから選択してください。

コース名	内容	備考
① 指導員養成コース	指導員の認定を目指すコース	実習が必須となります
② 聴講コース	講義の視聴のみを希望する方向け	既に認定をお持ちの方も受講可能

2. 出願資格

以下のすべてを満たす方

1. 日本ダウン症療育研究会の会員であること
2. 医療・教育・福祉などの関連専門職種の有資格者であること

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、教員、保育士、心理士、社会福祉士、その他幹事会が認めたもの

3. 出願手続きと出願期間

出願期間

2026年5月15日～2026年5月25日（必着）

出願の手順（メールの場合）

1. **書式の準備**：5月10日以降にHPより「申込書」をダウンロードし、必要事項を記入してください。
申込用紙は、5月8日以降にHPに掲載の予定
2. **お問合せより送信**：HPの「お問合せ」フォームに、連絡先と「〇〇コース希望」と明記して送信してください。
3. **申込書の送付**：折り返し届く「自動返信メール」宛に、記入済みの**申込書を添付して返信**してください。
4. **受領確認**：事務局より受領メールを送付します。2日以内に届かない場合は事務局までご連絡ください。

※ @umin.ac.jp からのメールを受信できるよう設定をお願いします。

※ 郵送を希望される場合は、事前にお問合せフォームよりその旨をお知らせください。

送付先は次項日本ダウン症療育研究会事務局宛（締め切りは5月25日消印有効）

郵送の場合、封筒に「**養成コース申込書在中**」と記載してください。

4. 選考および受講料

出願資格を確認の上、選考を行います。結果は**6月下旬**にご連絡いたします。

- **指導員養成コース**

選考基準：実習定員を超えた場合、現場で赤ちゃん体操の導入を予定されている方を優先します。

受講料：40,000円

赤ちゃん体操DVD同時申込みの場合**4,500円**

- **講義聴講コース**

受講料：20,000円

※受講料のお振込みは7月10日締切です

5. 研修期間

- **講義（ウェブ配信）**

2026年7月31日(金) 17:00～8月24日(月) 10:00（期間中随時視聴可。1単位35～40分）

- **実習（指導員養成コースのみ）**

2026年8月24日(月)～2027年2月26日(金)

別紙日程表参照

6. 受講証の発行（指導員養成コースのみ）

各講義後の設問（3～4問）に回答し、基準を満たすことで単位取得となります。

実習を含む全単位の取得と、課題レポートの提出・確認をもって「受講証」を発行します。

7. 「指導員認定」資格について

受講証を取得後、以下の条件を満たした方は「指導員」認定の申請が可能です。

- **内規（抜粋）**：受講証の受理者が継続して赤ちゃん体操を実践指導し、本研究会へ3回以上出席した場合、認定証を申請することができる。
- **申請方法**：条件を満たした段階で、事務局へ申請用紙を請求してください。

事務局：近畿大学医学部小児科学教室 篠原 徹

〒590-0197 大阪府堺市南区三原台1丁14番1号

TEL:072-288-7222 内線2033

ホームページ：<https://plaza.umin.ac.jp/~JSCRD/>

E-mail：ホームページお問い合わせフォームをご利用ください

日本ダウン症療育研究会「赤ちゃん体操指導員養成コース」プログラム

2026年度 カリキュラム

講義科目	(単位数)
乳幼児の正常運動発達	(1)
ダウン症児運動発達評価法	(3)
ダウン症児の赤ちゃん体操	(3)
赤ちゃん体操演習	(2)
ダウン症児の精神発達・教育	(1)
新生児医療	(2)
ダウン症の合併症（先天性心疾患）	(1)
ダウン症の合併症（血液・内分泌）	(1)
ダウン症の合併症（整形外科）	(1)
心の健康への支援	(1)
言語・コミュニケーション	(2)
摂食指導	(1)
成人期のダウン症患者	(2)
地域医療	(1)
計 22 単位	
実習	(単位数)
必修	
赤ちゃん体操実習（zoom 利用によるオンライン実習）	(2)
施設実習 以下より選択	
赤ちゃん体操実習 I（兵庫県立尼崎総合医療センター）	(2)
赤ちゃん体操実習 II（近畿大学病院）	(2)
赤ちゃん体操実習 III（大阪医科薬科大学）	(2)
赤ちゃん体操実習 IV（東京通信病院）	(2)
赤ちゃん体操実習 V（兵庫県立こども発達支援センター）	(2)
*赤ちゃん体操統合実習（上記機関の中より指定）	(2)
計 8 単位（*印は必修）	
合 計 30 単位	

- ・オンライン実習については別紙詳細をご確認ください。
- ・実習は全て同一施設でも可能です。
- ・現在もしくは最近まで赤ちゃん体操教室に通っておられたお子様のご家族の方はその施設での実習をご遠慮ください。ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。

2026年度 シラバス

講義科目(単位数)	担当者
乳幼児の正常運動発達(1)	大阪医科薬科大学 玉井 浩
健全乳幼児の運動発達を知ることによって、ダウン症児の発達過程を理解することはとても重要です。とくに原始反射の消失時期や運動発達の順番について解説します。	
ダウン症児運動発達評価法(3)	兵庫県立尼崎総合医療センター 西谷・杉村
生後より歩行獲得まで一般乳児の運動発達を観察・分析して得た動きやポーズを4系列(座位、立位、姿勢を変える、腹ばい)9ステップで捉え、ダウン症児が辿るべきステップとした。9ステップの到達標準月齢は、当療育を受けたダウン症児群の平均値をもって表示した。	
ダウン症児の赤ちゃん体操(3)	兵庫県立尼崎総合医療センター 杉村・西谷
運動発達ステップに連動して発達を促す体操プログラムを修得し、関節変形の防止、筋力向上、ならびに粗大運動の正常な発達へ導く力量を養う。また、体操を通して安定した親子関係への配慮を学ぶ。	
赤ちゃん体操演習(2)	医療法人社団高原クリニック 福岡希代子
運動発達のステップを正しく評価し、体操プログラムを十分に理解したうえで、個々の体操レシピを作成する際の留意点について、いくつかの具体的な症例をもとに検討する。	
ダウン症児の精神発達・教育(1)	さめしま小児科 鮫島希代子
ダウン症児の精神発達につき学ぶ。知的障害に加え、自閉傾向を伴うことも少なくない。すべての問題を知的障害のみに原因を負わせるのではなく、特徴、性質を理解し、児に応じた指導および教育方法を考慮する。	
新生児医療(2)	奈良県赤十字血液センター 西久保敏也
新生児期のダウン症児への対応について； 新生児期のダウン症児の合併症と出生後のご両親に対する告知(染色体異常の成因を含めて)について学ぶ	
ダウン症の合併症(先天性心疾患)(1)	日本ダウン症療育研究会事務局 篠原 徹
ダウン症の50%に心疾患を合併する。体操を実施するにあたり心疾患合併児をさけてとおることは出来ない。心臓の解剖および生理を理解するとともに、ダウン症に合併しやすい心疾患を知り、そのような児が体操を実施するにあたっての注意点について学ぶ。	
ダウン症の合併症(血液・内分泌)(1)	大阪医科薬科大学 黒柳裕一
ダウン症児は、甲状腺機能低下症や一過性骨髄異常増殖症などの血液・内分泌疾患を合併することがある。そのようなダウン症にみられやすい合併症について解説する。	
ダウン症の合併症(整形外科)(1)	大阪市立総合医療センター 中川敬介
ダウン症児の足、関節の特徴をつかむ。低緊張のため外反扁平足を認め、運動発達の遅れが見られることがあるが、個人差に応じた運動、装具療法を促す必要がある。また、約10~20%が環軸椎不安定を合併し、約1~2%に脊髄圧迫症状、脊髄損傷のリスクがある。そのスクリーニング法、リスク管理について学ぶ。	
心の健康への支援(1)	さめしま小児科 鮫島希代子
ご家族となぜ?どうして?を共有する。親子で楽しむふれあいケアのダウン症児の赤ちゃん体操は、子どもの強さを経験でき、肯定的な家族の経験につながると考える。	
言語・コミュニケーション(2)	大阪医科薬科大学 LDセンター 中島順子
ダウン症児のコミュニケーションと言語の問題について整理します。そして、ダウン症児とのより良いコミュニケーションを育む大人のかかわり方について考えます。	
摂食指導(1)	東京逋信病院・よつばみらいクリニック 石上志保
乳幼児期の摂食嚥下機能の発達について説明をした後に、発達段階ごとに見られる問題への対応や家族支援についてのお話をします。	
成人期のダウン症者(2)	甲南女子大学 八木麻理子
成人期のダウン症者の、ライフステージ、健康に関する課題や知的発達等について解説する。ダウン症者では、小児期から続く健康面の課題に加えて、成人期特有の課題もある。心身共に健康に過ごすために、成人期以降も見据えた小児期からの健康管理が重要である。	
地域医療(1)	医療法人社団高原クリニック 高原周治
地域の診療所で関わっているダウン症児の事例検討を行い、現状の問題点と早期介入の効果を考察する。 また、当院で開設している児童発達支援、放課後デイサービス、病児保育の現状について紹介する。 合わせて、利用可能な療育、福祉サービスについても述べる。	

2026 年度実習日程

オンライン実習可能日

番号	日付	曜日	時間	番号	日付	曜日	時間
A	2026/ 8/24	(月)	13 : 00~16 : 00	D	2026/ 8/28	(金)	9 : 30~12 : 30
B	2026/ 8/25	(火)	10 : 00~13 : 00	E	2026/ 8/31	(月)	13 : 00~16 : 00
C	2026/ 8/27	(木)	9 : 30~12 : 30	F	2026/ 9/ 1	(火)	9 : 30~12 : 30

兵庫県立尼崎総合医療センター (第 2・4 月曜日)

番号	日付	時間
1	2026/ 9/14	9:30~12:10
2	2026/ 9/14	13:00~15:40
3	2026/ 9/28	9:30~12:10
4	2026/10/ 5	9:30~12:10
5	2026/10/ 5	13:00~15:40
6	2026/10/26	9:30~12:10
7	2026/11/ 9	9:30~12:10
8	2026/11/ 9	13:00~15:40
9	2026/11/30	9:30~12:10
10	2026/12/14	9:30~12:10
11	2026/12/14	13:00~15:40
12	2026/12/21	9:30~12:10
13	2027/ 1/18	9:30~12:10
14	2027/ 1/18	13:00~15:40
15	2027/ 1/25	9:30~12:10
16	2027/ 2/ 8	9:30~12:10
17	2027/ 2/ 8	13:00~15:40
18	2027/2/22	9:30~12:10

東京通信病院 (第 1・2・3・4 金曜日)

番号	日付	時間
31	2026/ 9/11	9:00~12:00
32	2026/ 9/11	12:00~15:00
33	2026/ 9/18	9:00~12:00
34	2026/ 9/18	12:00~15:00
35	2025/ 9/25	9:00~12:00
36	2026/10/ 2	9:00~12:00
37	2026/10/ 9	9:00~12:00
38	2026/10/ 9	12:00~15:00
39	2026/10/16	9:00~12:00
40	2026/10/16	12:00~15:00
41	2026/10/23	9:00~12:00
42	2026/11/ 6	9:00~12:00
43	2026/11/13	9:00~12:00
44	2026/11/13	12:00~15:00
45	2026/11/20	9:00~12:00
46	2026/11/20	12:00~15:00
47	2026/11/27	9:00~12:00
48	2026/12/ 4	9:00~12:00
49	2026/12/11	9:00~12:00
50	2026/12/11	12:00~15:00
51	2026/12/18	9:00~12:00
52	2026/12/18	12:00~15:00
53	2026/12/25	9:00~12:00
54	2027/ 1/ 8	9:00~12:00
55	2027/ 1/15	9:00~12:00
56	2027/ 1/15	12:00~15:30
57	2027/ 1/22	9:00~12:00
58	2027/ 2/ 5	9:00~12:00
59	2027/ 2/12	9:00~12:00
60	2027/ 2/12	12:00~15:00
61	2027/ 2/19	9:00~12:00
62	2027/ 2/19	12:00~15:00
63	2027/ 2/26	9:00~12:00

近畿大学病院 (第 1 木曜日)

番号	日付	時間
19	2026/ 9/ 3	10:00~13:00
20	2026/ 9/ 3	13:00~16:00
21	2026/10/ 1	10:00~13:00
22	2026/10/ 1	13:00~16:00
23	2026/11/12	10:00~13:00
24	2026/11/12	13:00~16:00
25	2026/12/ 3	10:00~13:00
26	2026/12/ 3	13:00~16:00
27	2027/ 1/ 7	10:00~13:00
28	2027/ 1/ 7	13:00~16:00
29	2027/ 2/ 4	10:00~13:00
30	2027/ 2/ 4	13:00~16:00

大阪医科薬科大学 LDセンター(第2・4水曜日)

番号	日付	時間
64	2026/ 9/ 9	9:45~12:00
65	2026/10/14	9:45~12:00
66	2026/10/28	9:45~12:00
67	2026/11/11	9:45~12:00
68	2026/11/25	9:45~12:00
69	2026/12/ 9	9:45~12:00
70	2026/12/23	9:45~12:00
71	2027/ 1/13	9:45~12:00
72	2027/ 1/27	9:45~12:00
73	2027/ 2/10	9:45~12:00
74	2027/ 2/24	9:45~12:00

兵庫県立発達支援センター (第2水曜日)

番号	日付	時間
75	2026 / 9/ 9	13:30~16:00
76	2026/10/14	13:30~16:00
77	2026/11/11	13:30~16:00
78	2026/12/ 9	13:30~16:00
79	2027/ 1/13	13:30~16:00
80	2027/ 2/10	13:30~16:00

※各実習施設の標準実施曜日を括弧内に記載しています。

祝日などにあたる日程については変更があるため、確認してください。

実習施設や日程は、受講決定後にお知らせするアンケートにてご希望をお聞きし、調整します。

午前と午後の設定のある実習施設では、続けての実習も可能です。

養成コースにお申込みの際に、お申込み用紙にご希望の実習施設の地域（関西地方/東京）をお知らせください。

実習について（指導員養成コース必須）

「指導員養成コース」では、ダウン症児とその保護者への「赤ちゃん体操」指導の実践を深く学ぶため、全4回の実習を設けています。各ステップを通じて、お子さんの状態を評価し、適切な体操レシピを組み立て、最終的には指導員とともに実践できる技術の習得を目指します。

1. 各実習の目標 ※実習の具体的な目標は、実習生の経験や習熟度に応じて調整する場合があります。

実習1（オンライン）：講義内容をアウトプットし、体操についての理解を確実にする。

実習2：見学・実践を通じ、「発達ステップ評価」を経験する。

実習3：見学・実践を通じ、体操レシピの選択と指導の実践を行う。

実習4（統合実習）：実践を通じ、評価から体操の選択、指導までの一連の流れを行う。

2. 実習1：オンライン実習（ZOOM）の詳細

実習初回（2単位分）は、ZOOMを用いたオンライン演習となります。

内容：人形を用い、「運動発達評価表」に基づいた評価の入り方や注意点、保護者への伝え方のポイントを演習します。人形を用いて実演していただきます。

所要時間：2～3時間程度（接続確認・休憩含む）

実施方法：複数人のグループワーク形式

3. 事前準備（受講者側で用意するもの）

① 人形（演習・今後の指導用） 以下の条件を満たすものをご用意ください。

- **可動域：**肩・股関節が回旋し、肘・膝が曲がるもの（人間とほぼ同じ位置で動くもの）。
- **形状：**ある程度首がしっかりしているタイプが、後半の体操確認時に扱いやすく推奨されます（※ぬいぐるみ等は不向きです）。
- **価格帯：**教材用の高価なものではなく、数千円程度で販売されているもので十分です。
- **参考（検索キーワード例）：**「ベビーケア トレーニングドール」「赤ちゃん人形 マネキン」「沐浴人形」などで検索いただくと、Amazon等で50～60cm程度の適したモデルが見つかります。

◇[Amazon.co.jp](https://www.amazon.co.jp): [ベビーケアモデル 20 インチ ソフトボディ人形 パッシブ ベビードール トレーニング マッサージ モデル 産科 学校 保健センター 医学教育 学校 教育ツール \(52cm\) : 文房具・オフィス用品](#)（関節の曲がる位置が実際の人間に近く、イメージしやすいためお勧めです）

◇[Amazon | LONIAN 50cm/60cm ベビー ケア トレーニング ドール 赤ちゃん 人形 マネキン 病院ごっこ 沐浴 人形 ママドール 動く人形 ドール 教育 母親 学校訓練 乳児 練習 看護 保育士 養成 \(60CM,ピンクのスーツ\) | 人形・ドール | おもちゃ](#)

② オンライン環境

- **デバイス：**PCまたはタブレットを強く推奨します（スマホ不可）。
- **アプリ：**最新版のZOOMアプリを事前にインストールしてください。
- **通信環境：**安定したネット接続環境を確保してください。
- **操作習熟：**基本的なZOOM操作に慣れておいてください。

※接続確認に15分以上要し、進行に支障が出る場合は、やむを得ず当日の受講を中止とする場合があります。

日本ダウン症療育研究会認定「赤ちゃん体操指導員」養成コース
～養成コース開催にあたって～

赤ちゃん体操資格認定委員会 委員長
よつばみらいクリニック 小野 正恵

2026年度の「赤ちゃん体操指導員」養成コースのご案内をさせていただきます。

ダウン症のあるお子さんの出生は、毎年およそ2,000人程度と想定され、ダウン症のある方の平均寿命も60歳を越えています。QOLの改善は重要課題で、それには幼少期からの関わり方や指導の充実が大きく影響すると考えられます。今年度は、日本ダウン症療育研究会の発足、ならびに赤ちゃん体操指導員養成コースの開始から20周年を迎えますが、私たちの使命も今後一層増していくと感じ、身の引き締まる思いです。

赤ちゃん体操の導入は、ご本人の運動発達促進だけでなく、ご家族支援につながると思われれます。その意義は大きく、赤ちゃん体操指導員が増え、支援の輪が広がりますよう期待しています。講義の聴講はWebで行われ、また今年度から、実習の初回は人形を使つてのオンライン実習が必須となり、画面越しで赤ちゃん体操の基本を学んでから現場に出てください。オンライン実習では、受講生が人形を使つて実践し、それに対してベテランの指導員がアドバイスおよび体操の注意点を解説する形で実施します。講義だけでは不十分であった内容をしっかり学んでいただき、2回目以降の実際のお子さんを前にした実習を少しでも安全に、安心して行っていただけますようにと願っております。

新型コロナウイルスの流行で強力な感染対策が行われたときは感染症が激減しましたが、今は海外からののはしか（麻しん）の持ち込みと、そこからの感染拡大が大きな問題になるなど、多種類の感染症が増えています。実習を引き受ける病院・施設はそれぞれに、実習者や見学者に対して各種感染症に対する規定があり、条件を満たしていただく必要があります。施設ごとに多少違いもありますので、受講が決まり、そして実習先が決まりましたら、規定をご確認の上、必要なワクチン接種がありましたら、早めに受けるようお願いいたします。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

2026年4月12日